

加茂市地域公共交通計画 概要版

1 計画策定の趣旨·目的

加茂市では、市民バスの運行経費が年々増加し、財政を圧迫していたことや需要に合った運行ができていなかったことから、令和2年度に市民バスの見直し検討に着手し、令和4年11月にかもんバス(旧市民バス)、令和4年12月に新たにかもんタクシー(デマンド交通)の運行を開始しました。しかし、運行内容に未だ効率化できる部分があることや公共交通利用促進等のソフト施策も有効に組み合わせる必要があること、健康事業や中心市街地活性化事業と連携等を行いながら利用者をさらに増やしていく余地があること等から、公共交通のさらなる改善に向けて総合的に具体的施策を定めて実行していくことが求められます。

令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(以下、地域交通法)」の改正により、「地域公共交通計画」の作成が努力義務化されました。さらに、計画と国庫補助制度が連動化され、補助事業を活用するためには「地域公共交通計画」において、補助の必要性や定量的な目標等の記載が必要となりました。また、令和5年7月、10月にも地域交通法が改正され、地域の関係者の連携・協働(共創)を通じ、利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通への「リ・デザイン」(再構築)が求められるようになりました。

以上を踏まえ、加茂市の公共交通を取り巻く現状や課題を改めて整理し、関係機関の横断的な連携・取組を効率的 効果的に進め、公共交通に関する施策を総合的に具体的に展開していくことを目的に、「加茂市地域公共交通計画」 を策定するものとします。

2 上位・関連計画の整理



3 現状整理

分類	現状(総括)
高齢者の自家用車利用	・自家用車の利用に頼らざるをえない状況にある高齢者がいると想定され、公共交通の利便性向上が求められる。
かもんバス	・かもんバスの利用者は増加しているが、今後も利用者増が望まれる。 ・一方で、かもんバスは日中や休日の利用が少ない。 ・かもんバスの「運行便数増加」や「運賃を安くする」要望が多く挙げられている一方で、運行経費が高額となっている。 ・かもんバスの非利用者に利用してもらうために情報提供の充実や待合環境の整備が必要。
かもんタクシー	・予約の自動組み合わせシステムや運行台数を多く確保することにより、利用者が使いたいときに使えるサービスにする必要がある。 ・かもんタクシーの平均乗合人数が一定となっており、乗合人数の増加による効率化が望まれる。
スクールバスの ・ かもんバス、スクールバスの路線の重複が多い。 ・ かもんバス、スクールバスは経費が多くかかっており、今後も運行削減が必要。	
学生の利用促進	・加茂市内、市外に通学する高校生、大学生が存在し、学生にとっても利用しやすい環境が求められる。
脱炭素	・公共交通における脱炭素化を行うことで、「加茂市ゼロカーボンシティ」の実現に貢献する。
情報提供	・観光客等の来訪者にも分かりやすく、使いやすい公共交通の整備が求められる。 ・利用者、非利用者ともに分かりやすい情報提供と、利用促進につながる情報を併せて提供する。
新たな移動需要	・中心市街地におでかけや健康増進のための移動需要が生まれると想定され、需要にあった公共交通の利便性向上が必要。

4 課題の整理

課題①	交通資源をフル活用する 公共交通の効率化	・かもんバスはスクールバスとの組み合わせも検討しつつ効率化と高頻度化を図る。・かもんタクシーは乗合率を高めることで効率化を図る。			
課題②	乗りたい時に乗れる 公共交通の構築	・公共交通の人口カバー率 100%を維持する。 ・かもんバスの運行便数は確保しつつ、かもんタクシーの利用お断りが無いようにする ことで乗りたいときに乗れる公共交通を目指す。			
課題③	持続可能な 公共交通サービスの構築	かもんバスの路線再編や、スクールバスとの組み合わせにより経費を抑えて運行する。 公共交通の脱炭素化に向け、EV車両の導入や路線の効率化を図る。 公共交通キャラクターおでかもちゃんのグッズ販売による収益化を目指す。			
課題④	おでかけや健康増進に 資する公共交通の整備	・中心市街地へのおでかけがしやすくなるように利用者にインセンティブを与えることを検討する。・かも健康ポイント等との連携により、おでかけ機会と健康増進を図ることを検討する。			
課題⑤	誰にでも利用しやすい 公共交通の整備	・観光客や普段公共交通を利用しない方にも利用しやすいような情報提供や待合施設の 整備を図る。			
課題⑥	非公共交通利用者にも 訴求する公共交通の 利用促進	・モビリティマネジメント(※)を行い、現在の公共交通利用者と非利用者それぞれに訴求する利用促進策を検討する。 ※当該の地域を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩等を含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組を意味するもの			

5 基本的な方針と目標

基本方針





「みんなが自由におでかけできる環境づくり」

目標 01 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備

- ♥ 市域をまたぐおでかけニーズを満たす移動サービスを維持します。
- ✓ 中心市街地内の回遊性を高めることで中心市街地へおでかけしやすい環境をつくります。

目標 02 持続可能な移動サービスの提供

- ❤ 公共交通の効率化を図り、現在のサービスレベルを維持します。
- ♥ かもんタクシーの乗合人数を高め、貨客混載等による収益確保と効率化を目指します。
- ❤ 公共交通の脱炭素化を行い、環境面においても持続可能な移動サービスを目指します。
- ♥ 公共交通キャラクター「おでかもちゃん」のグッズ販売による収益化を目指します。

■ 目標 03 公共交通でおでかけしたくなる環境整備

- ❤ 加茂市商店街や美人の湯と連携し、公共交通利用の動機付けを行います。
- ❤ 健康ポイントと連携し、公共交通利用の動機付けを行います。
- ❤ 公共交通への愛着を持てるよう、公共交通キャラクター「おでかもちゃん」の認知度向上を目指します。
- ✓ 利用促進及び、交通安全、環境への配慮等様々な観点からのモビリティマネジメントを実施し、公共交通 利用者の増加を目指します。

みんなのおでかけニーズを満たす 移動サービスの整備

施策1-1 かもんバス、かもんタクシーによる公共交通網の構築

施策1-2 市域をまたぐ移動ニーズを満たすかもんタクシーの運行

施策1-3 中心市街地における回遊性の向上

施策 1-1 かもんバス、かもんタクシーによる公共交通網の構築

- ✓ かもんバス、かもんタクシーの2階層の交通モードにより公共交通網 を構築します。デマンド交通であるかもんタクシーで加茂市内全域を カバーしつつ、主要な軸(須田~中心市街地~七谷)はかもんバスを 運行することで、公共交通空白地ゼロを今後も維持します。また、市民 のニーズや公共施設の再編に合わせ、毎年運行内容(ダイヤ、ルート等) を改善します。
- ✓ かもんタクシーに関しては、AI デマンドシステム導入による効率化等により、みんなのおでかけニーズを満たせるよう、お断り件数ゼロを目指します。

施策 1-2 市域をまたぐ移動ニーズを満たすかもんタクシーの運行

- ✓ 生活圏が近い田上町や五泉市の市域をまたぐエリアにおいて、現在の 運行を維持しつつ、加茂市内からの移動ニーズが高い場所に関しては、 かもんタクシーの新たな行先として設定することを検討し、利便性向 上を目指します。

施策1-3 中心市街地における回遊性の向上

- ✓ 加茂市の中心市街地には商店街及び加茂山公園、加茂川河川敷があり、 買い物や運動、遊びを楽しめる立地であることから、中心市街地内で の回遊性を高めることはもとより、周辺市街地から中心市街地へおで かけしやすい環境にします。
- ▼ 市街地での回遊性の向上にあたっては、 令和6年夏頃の策定を目途に検討が進められている、加茂駅周辺中心市街地 エリアにおける「未来ビジョン」を十分に意識しながら、シェアサイクル等の マイクロモビリティ導入(写真)や、 かもんバスの中心市街地内での乗降無 料化等、回遊性・利便性の向上及び賑わいの創出に寄与する施策を検討します。



マイクロモビリティの例 (電動自転車(新潟市))

02 持続可能な移動サービスの提供

施策2-1 かもんバスを含む重複路線の効率化

施策2-2 かもんバスと市営スクールバスを統合した効率化

施策2-3 AIデマンドシステムを活用したかもんタクシーの効率化

施策2-4 かもんバス・タクシーの貨客混載による効率化

施策2-5 公共交通グッズ販売による収益の確保

施策2-6 環境に優しい車両の導入

_(Pick up!)

施策 2-5 公共交通グッズ販売による収益の確保

✓ 加茂市公共交通キャラクターの「おでかもちゃん」を使用したグッズ を作成し販売することで、加茂市公共交通のファンを増やしより公共 交通を身近に感じてもらいつつ、収益を得ることによって公共交通の 持続可能性を高めます。



加茂市公共交通キャラクター **おでかもちゃん**



キャラクターグッズ例 出典:西鉄バスキャラクター特設ホームページ 「ババ・バスオのお部屋」

Pick up!

施策 2-6 環境に優しい車両の導入

- ✓ 二酸化炭素排出量削減が求められていることや、燃料費が高騰していることから、かもんバスやかもんタクシーに利用されている車両の環境負荷の少ない車両(HV、EV等)への更新を進め、ゼロカーボンシティ実現に貢献します。
- ◇ 充電施設の位置に関しては、運行の効率性や、災害時の非常電源としての機能、その他電動車両との連携について検討して決定します。

▶ EVバスのイメージ 出典: EV Motors Japan ホームページ



103 公共交通でおでかけしたくなる 環境整備

施策3-1 かもんバス・タクシー車両のラッピング等によるイメージアップ

施策3-2 かもんタクシー乗り方講座

施策3-3 停留所および配布物等への多言語表記の追加

施策3-4 かもんタクシーの待合場所の設置

施策3-5 ポケット時刻表の発行

施策3-6 市役所職員に対する公共交通の利用促進

施策3-7 企業に対する公共交通の利用促進

施策3-8 幅広い世代の利用促進に向けた運賃割引

施策3-9 加茂市商店街との連携

施策3-10 加茂七谷温泉 美人の湯との連携

施策3-11 健康事業との連携

施策3-12 公共交通グッズを活用した利用促進

施策3-13 公共交通乗車券のデジタル化

施策3-14 公共交通データのGTFS化とオープンデータ化

施策3-15 待合環境の整備

施策3-16 公共交通利用促進冊子の発行

施策3-17 運転免許返納者への公共交通利用券の配布

施策3-18 SNSを活用したPR

Pick up!

施策3-8 幅広い世代の利用促進に向けた運賃割引

- ✓ 例として、母子手帳・加茂市子育で応援パスポートの提示による運賃の 割引きや、夏休み期間の子ども運賃の割引及び無料化、特定の日に限り 加茂市内の公共交通無料化等の施策が考えられます。





割引 かもんバス かもんタクシー

子育て応援パスポートの提示による割引イメージ

本計画における3つの目標に対応する評価指標を下表のように設定します。 計画期間の最終年度である令和10年度(2028年度)の目標値達成を目指し、各施策を推進します。

評価指標 基準値(R4年度) 目標値(R10年度) 人口カバー率 [%] 100% 100% 目標 かもんバス 165.3 181.8 利用者数 [人/日] かもんタクシー 40.6 47.8 80% 52% かもんバス 利用者の満足度 [%] %3 かもんタクシー 73%

02

評価指標		基準値 (R4年度)	目標値 (R10年度)
収支率	かもんバス	9.8%	10.7%
[%] *4	かもんタクシー	7.4%	8.7%
利用者一人あたりの行政負担額	かもんバス	1265	1138
[円/人]※5	かもんタクシー	2353	2108
公共交通グッズ販売による収益 [円]		_	毎年増加

目標 03

評価指標		基準値(R4年度)	目標値 (R10年度)
中心市街地の利用者数	かもんバス ※6	73.7	88.4
[人/日]	かもんタクシー ※2	13.8	16.6
美人の湯の利用者数	かもんバス ※6	7.4	8.9
[人/日]	かもんタクシー ※2	0.2	0.2
かも健康ポイント参加者の平均歩数 [歩/日]		6567.0	65歳以上:6000 65歳未満:8000
免許返納率 [%] ※7		1.5%	3.0%